

◆秋葉就一の市政レポート◆No.22

電子メール：akibasanka@yahoo.co.jp

2期目を目指した市長選での惜敗から8ヶ月。八千代市政は？

市議会文教安全委が3対4で不採択 (2017/9/8)



スポーツ施設への高校生大学生料金の導入と、総合グラウンドの照明灯使用料の値下げを求める陳情に賛成したのは、原弘志議員など3名。反対は、末永議員、緑川議員、横山博美議員、伊東委員長

秋葉前市長による当初予算編成3年目の2016年度決算でも財政状況は改善

★財政調整基金は標準財政規模の5%以上を維持（18.8億円に）

豊田元市長時代の最後の3か年の平均は約1.2億円、秋葉市政3か年の平均は約1.8億円（両市長が予算に関わった2013年度決算を除く）。以下は、→の左側の数値が2015年度決算、→の右側が2016年度決算の数値

★実質収支は14.7億円。

実質収支比率は4.5%と、望ましいとされる標準財政規模の3~5%を維持。

当初予算で通常前提としている10億円に対して5億円弱の余裕をつけて目標達成。

★地方債残高が6年ぶり（過去20年で2回目）に対前年度比で減少！

572.56億円 → 570.23億円と、約2.3億円の市債残高の減！

★公債費負担比率も0.3ポイント改善
14.4% → 14.1%

★将来負担比率も約7ポイント改善
51.1% → 44.2%

★実質公債費比率も1.2ポイント改善
8.7% → 7.5%

★積立金残高も改善（増加）

30.2億円 → 32.4億円

★そのうち、財政調整基金残高は微減

22.6億円 → 18.8億円でしたが、財政調整基金+市債管理基金+庁舎整備基金の合計額は、27.7億円 → 29.9億円と2.2億円の増。財政調整基金は4億円弱の減でしたが、市債管理基金で1億円の増、庁舎整備基金で5億円の皆増と、基金全体は改善。

●市税徴収率が2012年度と比べて3.5ポイントもアップして94.5%に。（4年前の徴収率がそのままだったら10億円少ない税収）

◆昨年8月末の庁舎整備手法等専門会議で、昨夏実施の無作為抽出市民アンケートで回答者の約71%が市役所建て替えに賛成と発表。

■事業仕分けについての誤報にご注意を
S市議（男性・八千代台東）の通信に事業仕分けの財政効果は職員の残業手当で相殺された旨の記載があったが、全くのデタラメ。仕分け2日間の同手当は約77万円。その他の実施経費が約295万円。他方で、財政効果は2016年度で約7700万円、前年度分も含めると約1.5億円。予算ベースだと3ヶ年で約2.3億円。